

第IV部門

歌詞からみる夜景写真のイメージ分析

大阪工業大学工学部 学生員 ○駒井 大輝

大阪工業大学工学部 石躍 智美

大阪工業大学工学部 正会員 田中 一成

大阪工業大学工学部 正会員 吉川 眞

1. はじめに

夜景は、人種・性別・世代を問わず多くの人々を魅了してやまないものである。その背景として、様々なストレスを抱える現代人にとって、癒しをもたらす視覚的な刺激のひとつとなっているのではないかと考える。これらの時代背景から、夜景は観光客収集の可能性を大きく秘めているといえる。

近年、スマートフォンの普及やカメラのデジタル化などが進み、人々がカメラと接することが多くなっている。スマートフォンのカメラも非常に性能が優れてきており、人々が日常的に写真を撮影する機会が増えている。またコンパクトカメラの普及やカメラ本体の小型化、「カメラ女子」向けのプロダクトの普及により、写真を撮影する人口は増加してきている。

SNS（ソーシャルネットワークサービス）の情報交換サイトが普及し、我々は不特定多数との交流を行えるようになった。今日では、SNS による流行や人気スポット誕生も多くみられる。

人々を魅了する夜景をカメラで撮影し、撮影した夜景写真を SNS に投稿する。その投稿が話題となり人気の夜景スポットなる。人気の夜景スポットを求め観光客が増加し地域活性化へと繋がる。この一連の流れは、夜景の魅力を示している。特徴のある夜景を見出すためには、人々の意識に着目することも着眼点のひとつであると考えられる。



図1 夜景

2. 研究の目的と方法

本研究では、夜景が人々にどのような感情を与えるのか把握することを目的とする。感情の把握により特徴的な夜景創出の手がかりになるのではないかと考える。

研究の方法としては、はじめに夜景写真と夜景に関係する歌詞の収集を行う。その後、夜景写真の分類と特徴の分析を行う。次に、収集した歌詞の分析で得たワードを取り出し、その分類を行う。最後に夜景写真の分析結果と歌詞分析で得た単語との関係から夜景写真のイメージ分析を行う。

3. 夜景写真の収集

本研究では、夜景のイメージの分析を夜景写真を用いて行う。夜景写真と言っても、無数に存在する夜景スポットから撮影された、膨大な量の写真が存在する。その全てを用いて分析することは難しい。そこで本研究では、夜景スポットの選定を行い、その中で撮影が行われた夜景写真を対象とした。

夜景スポットの選定基準として、Web サイト「プロの夜景写真家が選んだ！関西の本当に美しい“夜景スポット”27選」に紹介されている夜景スポットを対象とした。その後、対象とした夜景スポットの写真を flicker API を用いて収集し、夜景と夜景以外の写真の分別を行った。そして、総検索数と夜景写真の割合が 30 パーセントを上回る夜景スポットを本研究の対象地とした。

Hiroki KOMAI, Tomomi ISHIODORI, Kazunari TANAKA and Shin YOSHIKAWA

St1254.kj8@gmail.com

4. 歌詞

本研究では、夜景写真を分析する為に歌詞を用いる。使用する歌詞は、1989 年から 2016 年までのオリコンランキング 10 位以内に入っている、かつ夜に関する言葉が歌詞に入っている楽曲を対象とした。

抽出した楽曲の歌詞について、夜景を表現する単語とこれを心理的に評価する形容詞・副詞の抽出を行った。その例を表 1 に示す。

5. 歌詞を用いた夜景評価

本研究では、抽出した夜景写真について、その構成要素と心理を表す歌詞との関係から夜景写真のイメージの把握を行った。ここでは、夜景の構成要素を取り出し、それぞれについて心理評価の語を並列的に整理した。

表 1 夜景と心理の抽出

夜景を示す語	心理を示す語
街	恋しくて、奇跡、乗り越える、つらい、こわい
光	輝き、見守る、幸せ、miss、果てる、切なく
空	輝き続ける、抱きしめる、幸せ、壊す、枯れる、さよなら
夜空	大切なもの、さよなら、眠れない

6. 結果と考察

夜景写真と歌詞を用いて分析を行なった結果、夜景から様々な感情が得られることが明らかとなった。この結果から、夜景はその美しさで人々を魅了しているが、夜景を見て美しいと感じているのはほんの一部の表層部分の感情である可能性を見出した。図 2 の上の写真は、例として「つらいけれども乗り越えなくてはならない」と表現することができる。このような分析から、人々は夜景を見て様々な感情を、意識の有無にかかわらず持っていることが分かった。また、今回対象とした写真に関しては、ポジティブとネガティブの感情が共存している傾向があった。それぞれの写真における対象となる構成要素について、様々なものがあり、これによってイメージがポジティブとネガティブに変化する可能性を見出した。これらが人々を魅了する夜景の魅力を引き出す方法を示唆しているのではないかと考える。

本研究の結果から、夜景の魅力の一部を評価することができたのではないかと考える。夜景の魅力を新たな指標と方法を用いて記述できたことは、今後の夜景分析において大きな意味を持つのではないかと考える。

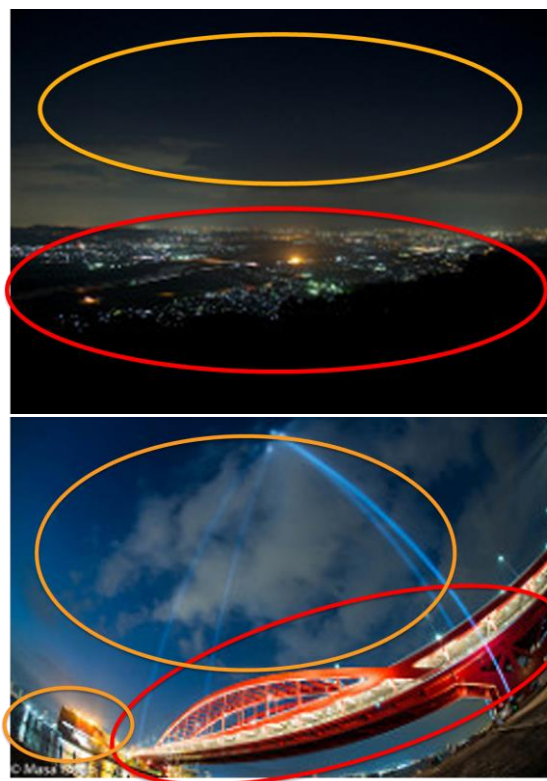


図 2 抽出した夜景写真とその構成要素

7. おわりに

本研究では、夜景から得られる感情やイメージの把握を、夜景写真と歌詞を用いて試みた。この結果、夜景の空間構成要素から様々な感情が得られていることを明らかにしてきた。今後は、昼間の空間構成要素から得られる感情の把握を行い、昼と夜の印象の変化と、対象となる構成要素の違いについて明らかにする。

【参考文献】

堤博紀・田中一成・吉川眞：都市空間における光環境に着目した境界について、土木学会関西支部年次学術講演会公演概要集,IV-14,2013